



かわにし市議会だより

市花りんどう

平成23年(2011年)
8月1日
No.182

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

平成23年度一般会計補正予算(第1回)など審議 子ども・子育て新システムに関する意見書提出



平成23年第2回定例市議会は、去る6月6日に招集され、24日に19日間の会期を終えました。

この定例市議会では、県のこども医療費助成制度の拡充や、国による働く世代への大腸がん検診推進事業の創設に伴う経費の追加などを含む、一般会計補正予算案をはじめ、合計25の案件を審議しました。

また、本会議最終日には、「子ども・子育て新システムに関する意見書」を可決し、直ちに関係大臣等に送付しました。

第1日(6月6日)

- 会期の決定
- 平成22年度一般会計予算の繰越明許費繰越しなど〔4件〕⇒報告
- 平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算〔1議案〕⇒表決
- 公平委員会委員の選任〔1議案〕⇒表決
- 市功労者表彰〔8議案〕⇒表決
- 市立川西南中学校南校舎棟耐震補強等工事請負契約の締結など〔5議案〕⇒市長提案説明

〈議案熟読〉

第2日(6月10日)

- 市立川西南中学校南校舎棟耐震補強等工事請負契約の締結など〔5議案〕⇒質疑・委員会付託
- 請願〔1件〕⇒委員会付託
- 一般質問

第3日(6月13日)

- 一般質問

第4日(6月14日)

- 一般質問

〈常任委員会審査〉

第5日(6月24日)

- 市立川西南中学校南校舎棟耐震補強等工事請負契約の締結など〔5議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決
- 選挙管理委員会委員の選挙〔1議案〕⇒選挙
- 選挙管理委員会委員補充員の選挙〔1議案〕⇒選挙
- 請願〔2件〕⇒継続審査
- 意見書案〔1件〕⇒表決
- 請願〔1件〕⇒表決

第2回市議会(定例会)日程

こども医療費助成の拡充経費など追加 ～子育て環境整備や市民の健康増進に期待～

この6月定例会では、「平成23年度一般会計補正予算(第1回)」を審議しました。

この補正は、本年10月から、県のこども医療費助成制度が拡充されることにより、新たに小学4年生から6年生が通院した際の自己負担額の3分の1を助成するための経費や、国の補助金を活用して、40歳から5歳刻みで60歳までの市民を対象に、大腸がん検診を推進するための経費のほか、東日本大震

災の被災地への職員派遣に伴う経費の追加などを内容とするものです。

これらの事業を通じて、安心して子育てできる環境整備や、市民の健康増進に一層貢献することを期待するとともに、被災地の1日も早い復興を祈念いたします。

また、この定例会では、川西南中学校の南校舎棟および清和台中学校の屋内運動場棟について、耐震補強等工事を行うための工事請負契約の締結案件についても審議

6月定例会

しています。

その審査では、工事期間中における生徒の安全対策はもとより、学校生活への影響や周辺住民に対する騒音被害等への配慮の必要性のほか、請負業者を決定するために実施された制限付き一般競争入札の結果に関して、採用工法による落札率(予定価格に対する落札額の割合)への影響や、施工監理等への対応方針といった面などについて、活発な論議が交わされました。

みんなの市議会 No.70

このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況などをお知らせしています。

今回は、「開かれた市議会」を目指した取り組みの一つである「会議公開制度」に関して、委員会などの「会議録」の閲覧を中心に紹介したいと思います。

委員会会議録の閲覧

市議会には、最終的な意思決定の場である「本会議」のほかに、本会議の予備的審査機関である「常任委員会」をはじめ、特定事項を審査するための「特別委員会」や、議会運営の円滑化を図るための「議会運営委員会」など、さまざまな会議があります。

川西市議会では、行財政運営が複雑・多様化し、議会においても、専門的で、より高度な審議が求められ、委員会

審査の重要性が高くなってきたことから、「開かれた議会」を確立するため、本会議の傍聴に加え、委員会等の会議でも傍聴を可能とする「会議公開制度」を導入しています。

また、議員の発言に加え、市当局の答弁内容などを「会議録」として記録し、どなたにでも閲覧していただけるよう、順次、調製しており、これらの会議録をご覧いただくと、当日の会議の様子などが把握

できます。

なお、平成13年6月以降に開催された会議の会議録については、インターネットで、川西市議会ホームページ内にある会議録検索システムのメニューを選び、ご利用いただくことで閲覧できるほか、中央図書館や市役所2階の市政情報コーナーでも閲覧していただけます。

会議録の閲覧に関して、詳しくお知らせになりたい場合は、

市議会事務局(TEL:740-1255)までお問い合わせください。

**暑中見舞いは
お出しできません**

議員から暑中見舞状等(答礼のための自筆のものを除く)を出すことは、公職選挙法で禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。



子どもたちの安全対策 市の取り組み状況聞く

議員 市内では、万引や自動車を傷つけるなどの軽微な犯罪が増加しており、凶悪犯罪が発生する前兆ではないかと考える。

そこで、大阪教育大学附属池田小学校で起きた児童殺傷事件から10年が経過したことから、子どもたちの安全対策を再認識すべきと考えるが、市の取り組み状況を伺いたい。



消防通信指令システム 共同運用の効果と課題問う

議員 本市の消防通信指令システムについては、宝塚市と猪名川町との共同運用が新たに開始され、2カ月が経過したところである。

そこで、この共同運用を行うことで得られた効果に加え、今後の課題について伺いたい。

消防長 共同運用の実施により、災害発生や消防車両等に関する情報を共有し、災害現場への出場指令の時間短縮や、初動体制の強化が図られたほか、通信指令業務の人員が



一庫ダムの災害対応 耐震性と飲料水確保策ただす

議員 東日本大震災では、福島県須賀川市の農業用ダムが決壊したほか、東京都の浄水場で乳児の飲用水に関する国の基準を上回る放射性物質を検出する事象が発生した。

そこで、一庫ダムの耐震性や水源が汚染された時の飲料水確保の方策について伺いたい。

総務部長 一庫ダムは、法令に基づ

教育振興部長 本市では、平成17年度から、学校安全協力員制度を創設しており、現在、1432人の地域の方々に協力していただき、登下校時の見守りなどを実施している。

また、事件や事故からの子どもの避難場所として、2054軒の家庭や事業所で、「こどもをまもる110番のおうち」を開設していただいている。

削減でき、他業務に増員できている。

現在の課題は、災害情報などの提供を行うテレホンガイドシステムにおいて、多数の問い合わせに対応できなかったことから、電話回線の増設が急務となっている。

一般質問

要旨



地元業者への業務委託 経済性を検証せよ

議員 市では、地元経済の活性化を目的に、業務委託の多数を競争入札によらない随意契約で、地元業者を優先し、発注している実態がある。

そこで、長年継続する業務委託に関し、複数の業者と見積もり合わせを行うなど、業務委託における経済性を検証すべきと考えるがどうか。

総務部長 市では、法令などを総合

的に判断するほか、発注案件の専門性や金額を考慮しながら、可能な限り、市内業者に発注している。

見積書の徴収については、契約規則に加え、ガイドラインを策定し、庁内の取り扱いの統一化に取り組んでおり、今後も地元業者の育成と競争性・経済性の確保に配慮しながら、適正な契約事務を進めたい。



人間ドックへの費用助成 後期高齢者も対象にできないか

議員 本市では、国民健康保険制度の加入者に対し、人間ドックの費用を助成しているものの、後期高齢者医療制度に加入する75歳以上の高齢者には、助成がなされていない。

しかし、必要な財源は、都道府県の後期高齢者医療広域連合を通して、国から手当てされるため、県下の市町村でも助成が開始されている。

そこで、この助成事業の実施に対する本市の考えを伺いたい。

健康福祉部長 市では、後期高齢者医療制度の創設時に、75歳以上の方への人間ドックの費用助成を見直したが、現在は、高齢者の健康増進が時代の要請となっている。

助成については、財源確保が見通せた後、実施内容を検討したい。



「児童家庭相談」 現状や今後の取り組み示せ

議員 相談件数の急増や高度な専門的対応の要請などを背景として、平成16年12月に児童福祉法が改正され、従来、児童相談所において、一元的に対応していた児童家庭相談が、市町村の業務として位置付けられた。

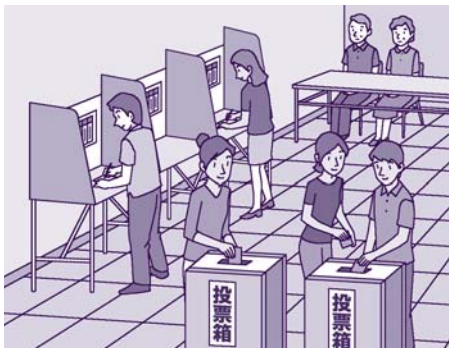
そこで、本市における相談体制の現状や今後の取り組み方針について伺いたい。

こども部長 本市では、これまでに相談専門員を2人から4人に増員したほか、積極的な研修参加による専門技能の向上に努めてきた。

今後も相談件数の増加や内容の複雑化が予想されるため、新たに今年度から、特に虐待防止に知見を有する専門アドバイザー制度を導入するなど、体制の拡充に取り組んでいる。



揺らぐ民主主義の根幹 投票率向上への取り組みは



議員 昨年10月に行われた市長・市議会議員選挙の投票率は、55.49%と55.50%であり、前回選挙より、いずれも約3.5ポイント下落している。

今後、さらに投票率の低下が続けば、民主主義の根幹を揺るがしかねないと危惧することから、投票率向上に向けた取り組み方針を伺いたい。
選挙管理委員会委員長 委員会では、常時啓発として、政治講座の開催や啓発物資の作成、配布のほか、市内小・中・高等学校に対して、選挙啓発ポスターの募集などを行っている。
今後は、小・中学校の生徒会選挙などで実際の投票箱や記載台等を利用してもらい、有権者となる前に選挙の大切さを学び、投票率の低い若年層の関心を高めたいと考えている。

子ども・子育て新システムに関する意見書〈要旨〉

国が設置した少子化社会対策会議では、すべての子どもへの良質な育成環境を保障し、子どもを大切にす社会の実現を目的として、「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」を決定し、平成25年度の制度施行を目指している。

しかし、この新システムでは、幼稚園・保育所・認定こども園を、(仮称)こども園に一体化するとの取り組みが示されたことから、関係団体から反対の声が出されている。

よって、当市議会は、国が新システムを導入するにあたり、十分な議論を尽くし、保護者や保育関係者等の意見を広く聴取するよう要望する。

本会議・委員会開催状況

5月

- 10日 ○建設常任委員協議会(川西市都市計画道路網見直し検討結果について)
- 24日 ○新名神高速道路周辺対策特別委員会(新名神高速道路建設について)
- まちづくり調査特別委員会(中央北地区のまちづくり方針についてなど)
- 30日 ○議会運営委員会

6月

- 1日 ○厚生経済常任委員協議会(平成22年度川西市国民健康保険事業特別会計の収支状況について)
- 6日 ○第2回市議会定例会(招集日)
- 議会運営委員会
- 8日 ○議会運営委員会
- 10日 ○第2回市議会定例会(第2日)

13日

- 第2回市議会定例会(第3日)
- 14日 ○第2回市議会定例会(第4日)
- 15日 ○総務常任委員会
- 16日 ○文教公企常任委員会
- 議会運営委員会
- 17日 ○厚生経済常任委員会
- 建設常任委員会
- 22日 ○議会運営委員会
- 24日 ○第2回市議会定例会(最終日)
- 議会運営委員会
- 29日 ○議会運営委員会

7月

- 6日 ○議会運営委員会
- 13日 ○議会運営委員会
- 19日 ○飛行場対策周辺整備調査特別委員会(平成23年度大阪国際空港周辺都市対策協議会運動方針案について)
- 20日 ○議会運営委員会

21日

- 広報委員会
- 25日 ○総務常任委員会所管事務調査(市川市・市川市における危機管理施策について)
- 文教公企常任委員会所管事務調査(尾道市・公立みつぎ総合病院における経営改善の取り組みと地域包括ケアシステムについて)
- 26日 ○総務常任委員会所管事務調査(志木市・行財政集中改革戦略プランについて)
- 文教公企常任委員会所管事務調査(広島市・ひろしま型カリキュラムによる教育の取り組みと市立袋町小学校について)(府中市・小中一貫教育の取り組みと市立府中学園について)
- 27日 ○議会運営委員会

受理した陳情

- 災害に強いまちづくりと地域循環型経済対策を求める陳情書
- 地球防衛宣言に関する陳情書
- 中学校教科書採択についての陳情

一般質問は、本会議第2日から第4日までの3日間にわたり行われ、16名の議員が、48項目について質問しました。
ここでは、そのうち16項目について、質問と答弁の要旨を掲載しています。そのほかの質問項目は、下段の「一般質問項目(掲載分を除く)」をご参照ください。詳しい内容は、9月初旬に発行予定の会議録でご覧いただけます。会議録は、市議会ホームページにも掲載しますので、ご利用ください。

市民生活

魅力いっぱい“新川西音頭”積極的に活用する考えは

議員 新川西音頭は、市の歴史や名所、旧跡などが歌詞に多く盛り込まれていることから、本市を広く知ってもらうため、イベント等の機会に積極的に活用すべきと考える。

そこで、新川西音頭が作られた経緯や今後の活用方針を伺いたい。

市民生活部長 新川西音頭は、昭和58年に市民からの公募で製作された川西音頭をもとに、平成3年、歌詞はそのままに、メロディを軽快にし、振り付けを新たにしたものである。

現在、源氏まつりの懐古行列や各地域の夏祭り等で活用されているが、

今後も永く引き継いでいけるよう、川西まつりでの活用を検討するなど、民謡協会をはじめ市民の皆様とともに盛り上げていきたいと考えている。



まちづくり

次世代型複合都市とは 中央北地区のまちづくり方針

議員 市は、6月号の広報かわにしで、中央北地区のまちづくり方針を公表し、「医療」「住宅」「集客」など、多機能が連携する「次世代型複合都市」を目指すとされている。

この次世代型複合都市のイメージや具体的な取り組みを伺いたい。

中央北整備部長 この方針では、地区には、せせらぎ遊歩道のほか、医

療・住宅・集客の各施設や中央公園などが多機能に集約され、あらゆる世代が交流し、コミュニティを形成するといったイメージをしている。

また、この実現のため、地区の付加価値を向上する手段として、大規模建築物への太陽光パネルの設置など、低炭素社会の構築を進めようと考えている。

まちづくり

関西空港・大阪空港の経営統合 今後の市の対応方針など問う

議員 先般、関西国際空港と大阪国際空港の経営統合法が成立し、両空港は新会社の下で一体的に運営されることになったが、空港周辺住民からは、新会社の安全・環境対策を不安視する声も聞いている。

そこで、今後の市の対応方針や、平成2年12月に国との間で締結された大阪国際空港の存続協定に関する

取り扱いについて伺いたい。

都市整備部長 市では、新会社設立後も、安全・環境対策が国の責任で確実に実行されるとともに、地元の意向を反映するための協議会が設置されるよう取り組む考えである。

また、存続協定については、本年2月に国と新たな確認書を交わしており、趣旨はなお有効と考えている。

まちづくり

震災に強いまちづくりへ 住宅耐震化の現状など聞く

議員 地震による建物損壊には、防止対策を重点にし、震災に強いまちづくりを進めることが重要である。

そこで、本市の耐震改修促進計画では、住宅の耐震化率を、平成27年度末で97%にするとの目標が示されていることから、住宅耐震化の現状のほか、耐震改修の普及促進に対する考え方を伺いたい。

都市整備部長 市内の住宅における耐震化率は、81%と推計しており、耐震化が進まない理由には、費用負担などの問題があるとされている。

しかしながら、県と市の耐震改修への補助は、最大130万円と、国内でも高水準にあることから、家屋倒壊による危険性の認識に加え、補助事業の周知・啓発に努めている。

環境保全

住宅用太陽光発電システム 設置補助の拡充方針聞く

議員 市では、今年度、市民による住宅用太陽光発電システムの設置に対し、補助制度が創設されている。

しかしながら、制度内容は、設置された太陽光発電システムにおいて、発電可能な最大出力1キロワットにつき、3万円を補助するもので、限度額は10万円までを基本とされ、予算額の580万円がなくなり次第、終了するといった規模となっている。

そこで、このような取り組みには、将来的な研究を行い、計画の策定が必要であると考えるが、市の方針を伺いたい。

市長 この補助制度については、省エネルギーなど、環境問題への取り組みが、今後さらに必要になると考え、予算化したものであり、規模等については、検討課題として、取り組んでいきたいと考えている。

病院

診療科目を見直す考えないか 経営厳しい“市立川西病院”

議員 市立川西病院では、年間外来延べ患者数が昨年度までの2年間で約2万人減少するなど、依然として厳しい経営状況が続いている。

そこで、他病院とのすみ分けも視野に入れた診療科目見直しの必要性について、市の見解を伺いたい。

病院事業管理者 当院が提供する医療については、ニーズが多様化する

中で、保有する人材や設備等の医療資源を考慮し、公立病院として提供すべき医療や求められる医療への対応を検討する必要がある。

また、医師の専門分化が進み、すべての分野の医師確保は困難なため、近隣の医療機関と連携し、互いの医療資源を有効活用する中で、診療連携に向けた協議を行う考えである。

教育

川西中学校の運動場 水はけ改善の方針聞く

議員 市立川西中学校(松が丘町地内)の運動場は、雨天後の水はけが非常に悪い状況が見受けられる。

授業やクラブ活動への影響も懸念されることから、改善に向けた市の対応方針を伺いたい。

教育振興部長 運動場の排水は、周囲の側溝のほか、地中に排水管を設置して処理しているが、同校では、

地中排水管の整備から30年以上が経過し、目詰まり等により、一部水はけの悪い箇所が発生している。

しかし、抜本的な改修には多額の経費が必要なほか、教育施設整備については、他に優先的に取り組むべき課題も多いことから、当面は土の補充等の部分補修で対応したいと考えている。

教育

学校の防災対策 マニュアルなどの備えは

議員 東日本大震災の発生により、あらためて学校施設の防災対策が重要となっている。

そこで、本市の学校施設における耐震化の取り組みに加え、災害対応マニュアルや、防災訓練のあり方に対する市の考えを伺いたい。

教育振興部長 現在、本市では、平成27年度までに、すべての学校施設において、耐震補強工事が完了するよう取り組んでいる。

また、各校の災害対応マニュアルについては、地域の防災組織との連携などを重視し、見直しを図っていきたいと考えるほか、小学校区単位で実施する防災訓練に幼稚園、小・中学校の教職員も参加できるよう、支援していきたいと考えている。



耐震補強工事が完了した学校

一般質問項目(掲載分を除く)

- 行政経営品質向上プログラムの成果について
- 庁内のセクシャルハラスメント・パワーハラスメント対策について
- 審議会等における傍聴者への名簿記載をやめること、資料配布の拡充について
- 市の委託業務従事者の労働環境を守ることにについて
- 川西市としての防災と災害時・緊急時の対応について(福井県にある原子力発電所で事故が起こった場合の市の対応、住民の安全確保の方策と課題、市役所の耐震化の現状と課題)
- 東日本大震災から学ぶべきものについて(公務員の拡充が安全対策であること、医療施設の大切さ)
- 大規模災害時における小中学校の避難所としての適正度について(小中学校の避難所としての円滑な活用)
- 総務省配布の被災者支援システムの導入について

- 災害時要援護者支援対策の強化について(各地区における進捗状況、支援者の充足状況、避難通路の安全性の検証、取り組み事例集の作成と啓発活動、取り組み強化のための当局の考え)
- 災害に強いまちづくりについて(その他の耐震対策)
- 降雨時における一庫ダムの放流量調整と猪名川河川改修について
- 障がい者を消費者被害から守る対策の整備について
- 安心・安全なまちづくりに向けた具体的な取り組みについて(認知症高齢者に関する情報の有効活用を図る考え、24時間対応の相談事業を実施する考え、認知症関連情報の広報活動、空き家対策の推進)
- 総括質問に続き、社会保障制度について
- 国民健康保険税の値上げをやめることについて

- 国保事業における特定健康診査・特定保健指導について(特定健康診査受診率の推移と受診率向上のための施策、特定保健指導の評価)
- 国保事業における人間ドック助成事業の拡充について
- 無縁社会における川西市の実態について
- 第5期介護保険事業計画の展望と考え方について
- 自然エネルギーの普及と低エネルギー社会の移行について(太陽光発電装置の設置普及、蓄電池等への助成、共同発電所、エネルギーの地産地消)
- 新川西音頭を広め、市民の活力とまちのにぎわいを創生することについて(教育の場での活用)
- 美しい都市景観を形成する施策について(市全域の景観に対する現状認識、緑溢れるまちなみを積極的に形成する考え)

- 「川西市都市計画道路」の見直し検討結果について
- 都市計画道路存廃に伴う条件整備について(存続決定路線の推進計画、廃止決定「南花屋敷線」の代替路線)
- 中央北地区への医療施設導入の方針について(医療対策、資金計画)
- 中央北地区への医療施設を誘致する考え方について
- 現行の大阪国際空港の発着枠に関するリージョナルジェット機の考え方について
- 11市協(大阪国際空港周辺都市対策協議会)が設立された初期の目的と運動方針の経緯と現在の運動方針について
- 南部地区のまちづくりの市の考え方と地元に対する協力体制について
- 高機能消防指令システムの現状について
- 川西市における小中学校の安全・安心対策とその機能について(小中学校の防犯対策)
- 川西中学校の防犯体制について

一般質問 発言議員

(発言順)	
北野	紀子
梶田	忠勝
宮坂	貴子
宮路	尊士
松田	敬幸
津田	加子
鈴木	代光
森安	本猛
福西	田末
大崎	淳正
黒田	美智
吉田	留進
岡平	岡美
安田	安忠

常任委員会報告

市税条例の一部改正を可決 被災地支援に伴う経費の予算化も 総務常任委員会

■川西市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、東日本大震災の発生を受け、地方税法が改正されたことに伴い、震災による資産の損失額を、平成23年度の市・県民税の雑損控除として、適用可能とするほか、住宅借入金等特別税額控除の対象となる住宅が、震災で滅失等をした場合においても、継続して控除が受けられるよう、条例を改正するものである。

問 今回の改正のうち、雑損控除の適用が受けられる対象者や、その影響額について伺いたい。

答 対象者は、本年1月1日現在、川西市に居住し、その後、転居先において、東日本大震災で被災された方で、約20人と見込んでいる。なお、これら被災者の市・県民税課税額は、合わせて約150万円である。

■平成23年度川西市一般会計補正予算（第1回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、東日本大震災の被災地への職員派遣に伴



被災地での支援活動の様子

う経費が予算化されているが、今後の被災地支援の計画を伺いたい。

答 本市は、宮城県の南三陸町（みなみさんりくちょう）や女川町（おながわちょう）を支援するため、西宮市、宝塚市、猪名川町のほか、宮城県内の自治体とともに、災害応援活動に関する協定書を締結しており、被災地から要望のある建築職や土木職の職員派遣について、各市町と協議しながら、長期的な派遣も視野に入れ、支援する考えである。

また、兵庫県を通じ、短期間での職員派遣の依頼もあるが、本市では、可能な限り、支援を継続していきたいと考えている。

川西南中学校など2校 耐震補強等工事の請負契約を審議 文教公企常任委員会

■市立川西南中学校南校舎棟耐震補強等工事請負契約の締結について

本案は、昭和35～44年度に建設された市立川西南中学校の南校舎棟において、耐震補強等を行う工事請負契約を締結しようとするものである。

問 市立川西南中学校は、狭い道路で囲まれていることから、工事車両に係る通行経路や、生徒への安全対策について伺いたい。

答 工事車両の進入口は、学校敷地の西側に3カ所設ける計画としており、各進入口には、警備員を配置する考えである。

なお、進入口は、3メートルの鋼板で囲い、校舎をつなぐ通路を工事車両が横断することから、ゲートを設け、警備員も配置し、生徒の安全確保に努める考えである。

■市立清和台中学校屋内運動場棟耐震補強等工事請負契約の締結について

本案は、昭和49年度に建設された市立清和台中学校の屋内運動場棟において、耐震補強等を行う工事請負契約を締結しようとするものである。

問 耐震補強工事については、日々、新しい工法が開発されていることから、今回の工事における工法を選択した経緯について伺いたい。

答 今回の耐震補強工事の工法については、設計が最終段階となった時点で、複数の候補があり、経済性や機能性のほか、教室等が使用中であっても、工事が実施可能かなどについて評価し、設計担当において、最適な工法を決定したところである。

今期定例会において、請願等を除き常任委員会で審査された議案は、総務委員会1件、文教公企委員会2件、厚生経済委員会1件、総務・厚生経済の二つの委員会に分割付託された補正予算案1件の計5件です。ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

一般会計（衛生費）補正予算で論議 働く世代への大腸がん検診を推進 厚生経済常任委員会

■平成23年度川西市一般会計補正予算（第1回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、大腸がんの早期発見や健康保持などを目的に、国が新たに創設した「働く世代への大腸がん検診推進事業」を実施するための経費が予算化され、本市の検診受診率を20%と見込んでいるが、その算出根拠を伺いたい。

答 この事業は、40～60歳までで、5歳刻みの節目年齢の市民を対象に、大腸がん検診の無料クーポン券と検診手帳を送付しようとするものである。

受診率の算出には、過去に年度途中から実施した「女性特有のがん検診推進事業」の受診率が20%であったことや、大腸がん検診は、職場や人間ドックなどでも受診可能であることに加え、500円の費用負担がかかることなども考慮し、受診率を20

%と推計している。

■平成23年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

問 本補正では、日帰りで、食事や入浴などの介護施設サービスを行うデイサービスにおいて、利用者の宿泊サービス等に対する需要の調査研究を行うため、新たに経費が予算化されているが、事業内容を伺いたい。

答 この調査研究事業では、二つの取り組みを行うこととしている。

一つは、市が委員会を設置し、デイサービスの実態のほか、利用者やその家族等における宿泊サービスへの需要などを調査するもので、もう一つは、市内のデイサービス事業者に対し、短期間による宿泊サービスのモデル事業の実施を委託しようとするものである。

市民生活にかかわりの深い議案を審議 ～ぜひ会議の傍聴にお越しください～

川西市議会では、本会議や委員会などの会議をすべて公開しています。

これらの会議では、皆さんの日常生活にかかわりの深い議案の審議などが行われており、市の方針や議会活動を知るよい機会ともなりますので、ぜひ傍聴にお越しください。

手続きは、当日、受付の名簿に、氏名や住所等を記載していただくだけとなっており、お車でお越しの際は、無料駐車券をお渡します。ので、お気軽にお申し出ください。

また、本会議で行われる一般質問の議員の発言順位については、市議会ホームページで公表しておりますが、さきの6月定例会からは、定例会招集日の翌日に早めることといたしましたので、ご利用ください。

9月定例会は、9月1日から開かれる予定で、傍聴の受付や定員は、次のとおりです。

【本会議】

- 受付＝本会議傍聴受付（市役所7階）
- 定員＝60人（その他に車椅子スペース5席）

【常任委員会・特別委員会など】

- 受付＝市議会事務局（市役所6階）
- 定員＝第1・第2委員会室（8人）、第3委員会室（5人）、議員協議会室（12人）

【問い合わせ先】市議会事務局（TEL：740－1255）



審 議 案 件

■全員賛成■

＜条例の一部改正＞

- 川西市税条例（総務）
- ＜補正予算＞
- 平成23年度川西市一般会計第1回補正（総務・厚生経済）
- 平成23年度川西市介護保険事業特別会計第1回補正（厚生経済）
- ＜その他＞
- 専決報告 平成23年度川西市国民健康保険事業特別会計第1回補正
- 公平委員会委員の選任

- 市功労者表彰＝8件
- 市立川西南中学校南校舎棟耐震補強等工事請負契約の締結（文教公企）
- 市立清和台中学校屋内運動場棟耐震補強等工事請負契約の締結（同）

―――【選 挙】―――

- 選挙管理委員会委員
- 選挙管理委員会委員補充員

―――【請 願】―――

■採 択■

- 国が進める「子ども・子育て新システム」に関する意見書提出を求める請願書（厚生経済）

■継続審査■

- TPPには参加しないよう意見書の提

出を求める請願（厚生経済）

- 『30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充』を求める請願書（文教公企）

―――【市長からの報告】―――

- 平成22年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越し
- 平成22年度川西市一般会計予算の事故繰越し
- 平成22年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費の繰越し
- 平成22年度川西市病院事業会計予算の建設改良費の繰越し

【注】（ ）は付託された委員会です。

永年勤続表彰

6月15日に開催された「第87回全国市議会議長会定期総会」において、本市から次の議員が表彰されました。

これを受け、6月24日の第2回市議会定例会最終日に、議長から表彰の報告が行われました。

20年表彰

土 田 忠
久 保 義 孝
安 田 末 廣
安 田 忠 司